

常警毎日

発行所 平田町75番 電話1210番
婦産科 齋藤医院
婦科 産科 入室完備
婦科 産科 入室完備

最高点當選は高萩氏 一變した石城の縣議分野

平、石城の縣選結果は、一部で既報の通り、選挙区長をはじめ大平、沢田、木田など現職者が多く落選して、これに代りて選挙区長三名（右一、左一）が當選、余の落選者で新人の進出が大いに目立った。当選者の内訳は、現職者四名（平市市、新人八名だが、党派別の色分けをみると定員十名（平市市）のうち八名を擁して絶対多数を維持していた自由党が六名に減じ、これに入れ代りて右社一名、左社一名が進出、民主連盟一名という分野となつた。

平市開票結果

當選、一一八七三票 馬目武之助（自前）
次点、七六三四票 野沢 武藏（無新）
六八一票 添田 計（共新）

石城開票結果

當選、一四四三二 高萩 邦男（右社新）
九九一七 鈴木 喜政（自前）
九七〇一 植田万治郎（自前）
九六五二 小野 義一（自前）
九三三二 大井川正巳（民前）
八九一九 鷲 文治（自前）
八二〇二 坂本浅治郎（自前）
七九九〇 本間 政男（左社新）
六五七四 会田 亮（左社新）
六二二〇 永山 忠二（自前）
六一八三 菅波 茂（無新）
六一五七 蓮沼 龍輔（自前）
五九六二 下山田 勇（右社新）
五九四二 大平 正次（自前）
五〇五七 沢田 源次（自前）
三六九三 庄司 浜吉（民新）
三二九四 木田森之助（無前）

重油式の火 重油式の火 重油式

平市民から大きく取り上げられていた火災補償問題は三月の市会であつたが、その後暫々と設計がなされてきたが、いよいよ工費四百八十万円で近代的重油式火災補償の集約されている。

根本貞治氏當選 教育優先が信條

根本貞治氏（定員十八名）が、二十四日午後十時十分ごろ、内郷市級地内國道上で、平方面に疾走中の平市市立第二小学校校舎裏で、三輪車を運行中の根本貞治氏（自前）は前方を歩行中の根本貞治氏（自前）に衝突し、左足を折る重傷を負った。根本氏は、二十四日午後十時十分ごろ、内郷市級地内國道上で、平方面に疾走中の平市市立第二小学校校舎裏で、三輪車を運行中の根本貞治氏（自前）は前方を歩行中の根本貞治氏（自前）に衝突し、左足を折る重傷を負った。

縣議選違反一號 更に各派に波及必至か

県會議選の選挙違反を追求中の平市では二十四日早朝選挙区長候補の運動員山後後援会事務局長柳作次郎（三）と村野三郎（伊藤）と吉田三郎（三）と好間村上好間（二）の四名を罰収容所へ送付した。柳は山後派の事務局長として罰収金額万円を払ふまじい罰収した。伊藤は白鳥派の事務局長として罰収金額万円を払ふまじい罰収した。

木村候補を推薦 縣医師連盟で決定

平市の市選も終極段階を迎え、三十六の各派がそれぞれ候補者を擁立し、選挙の準備がすすんでいる。このほか社会教育、精神教育の発展のため、宗教科教育を推進する必要がある。木村候補を推薦し、選挙の準備がすすんでいる。

三輪車には ねられ重傷

二十四日午後十時十分ごろ、内郷市級地内國道上で、平方面に疾走中の平市市立第二小学校校舎裏で、三輪車を運行中の根本貞治氏（自前）は前方を歩行中の根本貞治氏（自前）に衝突し、左足を折る重傷を負った。

好間川前一騎打 町村長、議員きよう締切

町村長、町村議員立候補届出は今二十五日午後五時締切される。好間川前（定員十八名）は、町村長、町村議員立候補届出は今二十五日午後五時締切される。

お知らせ!!

平市議會議員立候補者個人合同演説会を開催致します
期日 四月廿六日午後五時より
場所 平市公会堂（本館）
平市青年会連絡協議会
委員長 松本 勝
事務局 長 久松 裕

綿ふとん スズキ

専門の店
平市新町 電話四三三

田人教育委員

田人村長 田人教育委員
田人村長 田人教育委員

アマンド

指揮
IN WARNERCOLOR AND STEREOGRAPHIC SOUND
アンガニカ
ユニヴァーサル
総天然色巨篇
26日 聚楽館

バスガイド（女子）募集

募集人員 数名
一、高 校 卒
一、平市在住を希望
一、音声、容貌に自信があり身体健康な方
一、締 切 五月五日
御希望の方は履歴書及写真一葉封筒光臨送付して下さい
試験は追って通知します
常警交通株式会社

竹林病院

定 形 外 科
理 学 診 療 科
厚 生 医 院
平宅地建物取引所
平市才地小路跡川内町三六番

味自慢

江戸前 小料理
和洋食 支那そば
奈加や
才地小路395

栄えの当選者

写真(右馬目武之助)高萩邦男(鈴木喜政)植田万治郎(小野義一)大井川正巳(鷲文治)坂本浅治郎(本間政男)会田亮(永山忠二)菅波茂(蓮沼龍輔)下山田勇(大平正次)沢田源次(庄司浜吉)木田森之助

